

河川砂防技術研究開発公募(地域課題分野)平成22年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
宮崎県小丸川における置砂施工に用いる土砂の洗淨技術の開発(研究期間:H22年~H24年)	宮崎大学 鈴木 祥広	A
<研究概要> 河川の上流から下流への連続した土砂供給を回復させることを目的として、ダム上流の土砂を下流に運ぶ置砂が実施されている。これに用いる土砂からシルト分を取り除く洗淨技術において、必須プロセスとなる洗淨した際の濁水の簡易処理技術を開発し、実用化の可能性を明らかにした。		
<事後評価コメント> 置砂の対象となる土砂を洗淨した際に発生する濁水について、河川環境に与える影響の少ない簡易処理手法を開発した。目標とする処理水濁度を達成するなど、研究目的は達成され、十分な研究成果があったといえる。 今後は置砂施工における本技術の活用とともに、貯水池の濁度管理等への応用が期待される。		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い